

研修 評価

研修名	看護職員認知症対応力向上研修				
領域	診療報酬に関連した研修	会場	新潟テルサ	受講料	会 員:無料 非会員:無料
対象	県内医療機関に勤務する「認知症看護に関する指導的役割の看護職員」 募集数(60人) 応募数(109人)参加数(70人)会員数(65人)非会員数(5人)				
月日	令和5年8月22日(火曜日)、29日(火曜日)、9月6日(水曜日)				
ねらい(目的)	認知症の人と接する機会が多い看護職員に対し、医療機関等に入院から退院までのプロセスに沿った必要な基本知識や、個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を習得し、同じ医療機関等の看護職員に対し伝達をすることで、医療機関内等での認知症ケアの適切な実施とマネジメント体制の構築を目的とする。				
講師	田中 晋 竹内 真奈美 栗和田 直樹 小林 真由美 古川望 齊藤 静子				
内容・方法	○講義内容 ・基礎知識編 ・対応力向上編(認知症・せん妄・意思決定支援・地域連携・事例検討) ・マネジメント編(マネジメント・人材育成・GW自施設状況・GW計画策定) ○研修方法・講義と演習				
結果・評価 (受講者の意見感想含む)	1. 受講生: アンケート回収者では、リーダー的役割にある者の出席率は88%だった 2. 演習: GWは5~6人とした。 3. アンケート: 1) 回収率70% 2) 受講者が勤務する施設の規模は200床未満が51%・200床以上400床未満が42.9%・400床以上は6.1%・200床未満の小規模・中規模病院からの受講者が多かった。3) リーダー的役割を担う職位については、主任・副看護師長および師長が79.5%職位付与はないがリーダー的役割を担うものは20.5% 4) 研修の理解は「理解できた」「ほぼ理解できた」が100% 5) 研修内容の満足度は「満足できた」「ほぼ満足できた」が100%だった。 ※マネジメント編においては、「あまり理解できなかった」が4~8%だった。				
企画の評価	1) ねらいと内容との整合性はあったとしたものが98%。上記のアンケート結果からも、目標は達成でき、プログラムは妥当であった。 2) 研修企画実施後、再度同じグループで報告、振り返りがあるとさらにいいなと思うという意見があった。 2) 認知症患者への関わり方の視点が変わり現場での考え方に幅や奥行きが出来た。				
課題	会場が狭くGWセッティングが難しかった。また、会場の照明や室温調整が難しかった。				
担当者	教育委員				